

春日部がもっと好きになる、まちの情報誌

kasukabe

Plus
かすかべプラス

2014 FALL/WINTER vol.3

まちぐるみで幸せ応援！
子育てのしやすいまち。



みなさん！
子育て、楽しんで
いますか？

でいますか?



遊べるメニューが
多くて助かる!

ママ歴4年

木村由紀子さん あすか 飛鳥くん(4歳)
つばき 翼くん(1歳)

児童センターが3つあるから 飽きません

春日部は幼稚園や子どもを遊ばせる施設が多くて、
選択の余地があるからうれしいです。児童センターでは
館長さんが子どもの名前を覚えていてくれて、声を
かけてくれるので安心感もあります。気軽に話ができる
から精神的に楽ですね。



子どもも
喜んでいきます



ママ歴3年

澤田育子さん
あおい 蒼星くん(3歳)

子育ての相談にのって もらえるからうれしい!

子どもが喜ぶので児童センターによく連
れてきます。館長さんやスタッフの方
から、プロの視点で子育てのアドバイスを
してもらえるので助かります。子どもが大
きくなったら体験させてみたいイベントが
たくさんあるので今から楽しみです。

日本一幸せに子育てが
できるまちを目指して

日本一幸せに子育てができるまち。

春日部市はそんなまちを目指している。
「自然が多い」「子どもを連れて行ける
祭りやイベントがいっぱいある」など、実
際に春日部で子育てをするママやパパた
ちからの評判は上々だ。



エンゼル・ドームにあるクライミング
ウォール。

なかでも、注目度が高いのが、子育てを
サポートする施設やイベントが充実して
いる点。

市内には、0歳から18歳未満の子ども
たちのための施設「児童センター」が3カ
所(エンゼル・ドーム、スマイルしようわ、
グーかすかべ)、子育ての仲間づくりがで
きる「地域子育て支援拠点施設」が13カ
所あつて無料で利用できる。特に児童セン
ターはどこにもぎわつており、市外や県外
からも来館者が集まるほどだ。

センターを交流の場、
癒しの場として活用

市内在住の小島美希代さんは、中学3
年生と小学6年生になるお子さんを春日

みなさん!

子育て、楽しんで

子育て支援が
おもしろい!!



ママ歴4年

佐々木由布子さん ほると 陽叶くん(4歳)
臣仁くん(2歳) みお 心桜ちゃん(1カ月)

ママたちとの情報交換の場があって助かる!

春日部は児童センターが広くてきれいです。イベントが多いのもうれしい。センターでは子どもが自由に遊べるし、自分も気分転換できます。「おいしい店ができたよ」などママたちとの情報交換の場にもなってます。

ママたちと
情報交換
しています



ママ歴14年

小島美希代さん
はるか 遥夏さん(小6)

親子でボランティアを楽しんでいます

子どもたちが成長したので、今は子育ての支援側になって、親子で「おもしろ彩エンスクラブ」のボランティアとして活動しています。参加してくれた親子が「来てよかった」と喜んでくれたとき、やりがいを感じますね。

私たちと一緒に
遊びましょう!



エンゼル・ドームのスタッフ。若いスタッフは小学生や中学生から恋愛相談を受けることもあるという。

部で育ててきたベテランママ。長年、児童センターを利用してきた一人だ。

「よく来るのはエンゼル・ドーム。水遊びができるから、子どもが小さかった頃はお弁当を持ってきて、一日中いたこともあります。子どもも楽しめるし、お母さん同士の交流の場にもなっています。最近はいイベントも増えてきましたね」

春日部在住歴の浅い新貝有紀さんは、8カ月になる赤ちゃんを育てる新米ママ。

「主人の仕事の関係で引っ越してきました。知り合いはいないし、子どもが生まれても相談相手がいない。家にいると気分が滅入ってしまつて……。そんなときに初めて、スマイルしようわを訪れたんです。今では友だちもでき、気持ちがずいぶん楽になりました」

ママたちはそれぞれの使い方、児童センターを利用し、大満足の様子だ。

実際にどんな支援が行われているのか。施設の様子や、センターでサポートをするスタッフの思いを紹介していく。

毎日気軽に遊びに行きたい

エンゼル・ドリーム

屋外の遊具も、屋内の設備も充実。
天候を気にせずに子どもたちが走り回れる。
しかも、全国で「クレヨンしんちゃん&かすかべ防衛隊」の
モノUMENTに会えるのはココだけ。
早速、会いに行こう！





ボランティアスタッフと一緒に飛行機作り
に挑戦する親子。

まるでアミューズメント パークのような楽しさ

土曜日の朝10時。開館時間を回ると、続々と来館者がやってきた。ベビーカーを押してくるママ友たち、子ども連れの家族、友達同士でやってくる小学生たち……。受付を済ませると、それぞれお目当てのコーナーを目指す。

屋外に設置された大型のアスレチック遊具やローラー滑り台。クライミングウォールや遊具が置かれた広いプレイルーム、パソコンコーナー。

夏になれば、噴水やウォータースライダーで水遊びもできる。児童センター



パズル、
ちゃんとできる
かな？



子どもたちを温かく見守る坂巻館長。

というよりも、まるでアミューズメントパークだ。

お気に入りの場所で、子どもたちは夢中になって遊ぶ。毎日のように来館する親子連れが多い、というのもうなすける。

子育てよろず相談所と 思ってた来てほしい

「つばさちゃん、おはよう！」「ゆうくん、元気だった？」

来館者の一人一人に笑顔で声をかけていたのは、エンゼル・ドームの坂巻麻美子館長だ。自らも二人の子どもを育て、30年以上ソーシヤルワークの仕事に携わってきた子育て支援のプロである。坂巻館長が言う。

「エンゼル・ドームの役割の一つはもちろん、子どもたちに元気に遊んでもらうこと。もう一つはママたちの育児相談に乗ることです」

核家族化が進み、近くに相談できる人がいない。孤立した中での子育て

は、ママたちに大きな不安を与えているという。

「初めて子育てをするママたちは、わからないことが多く、自分の子とほかの子を比較しがち。少しでも違うところがあると、一人でどんどん悪い方に考えてしまうのです」

坂巻館長は、そんなママたちの悩みをいち早く察知して、アドバイスをする。必要があれば、市の家庭児童相談員に橋渡しもしているという。だから、来館者とのコミュニケーションは欠かせない。特に子どもとママ一人で遊んでいる場合は、館長が積極的に声をかけている。

「悩むママたちには、『とにかく一度エンゼル・ドームに来て！一緒に何とかしよう』と伝えたい。ここは、子育てよろず相談所『ですから』(笑)。もちろん、悩みがなくても、気軽に来てくれたらうれしいです」

中学生もボランティアスタッフとして活躍。
(おもしろ彩エンスクラブ)



小さい子ども安心して水遊びが楽しめる噴水。



長さ5mのウォータースライダーに子どもたちはみんな大はしゃぎ。



「エンゼルのまつり」の日。大勢のボランティアがかけつけて、子どもたちの遊びをサポートしていた。



昔の遊びは
感性を豊かに
しますよ!

イベントの企画を担当したボランティアの宮前芳雄さん。

エンゼル・ドームで、子育て支援に関わっているのは、館長やスタッフだけではない。100人以上のボランティアが登録しており、センター内でのイベントを主催したりとサポートに携わる。



屋外の大型アスレチックに子どもたちはワクワク大喜び!

100人以上の
ボランティアが活躍



- 春日部第1児童センター「エンゼル・ドーム」
- 所在地 春日部市牛島371-1
- 問い合わせ 048-755-8190
- 時間 10:00～18:00
- 休館日 年末年始(12月29日～1月3日)

「マジックのように科学の実験を見せると、子どもたちの目がパッと輝く。その顔を見るのがもう楽しくて(笑)」
エンゼル・ドームを中心として地域全体で子育てを応援。応援する側も生きがいややりがいを感じている。相乗効果でまちはさらに活気づくりに違いない。

年に一度の恒例行事「エンゼルのまつり」の日、ボランティアグループがブースを出し、総出でイベントを盛り上げていた。子どもたちと「昔の遊び」に興じていたのはその中の一人、宮前芳雄さん。子育てをサポートしたいと市民グループ「ダイーズの会」を主宰する。
「目指すのは『子どもの声が聞こえる街づくり』。小さな子どもと遊ぶと自分も元気をもらえます」
スライム作りを教えていたのは、小林久美恵さん。阪神淡路大震災を機に地域に根差した活動がしたいと、「おもしろ彩エンスクラブ」を立ち上げ、子どもたちに科学の面白さを伝えている。
「マジックのように科学の実験を見せると、子どもたちの目がパッと輝く。その顔を見るのがもう楽しくて(笑)」

パパも楽しむ子育て講座

かすかべのイクメンたち



夫婦で一緒に赤ちゃんのことを考えて



パパと一緒に楽しい時間。

「夫婦で一緒に赤ちゃんのことを考えてあげてください」といった言葉に、パパやママたちは大きくうなずいていた。

講話が終わると、ママたちは別室のヨガ教室でリフレッシュ。パパたちは赤ちゃんと接しながら、遊ぶときの注意点を教わったり、リズムに乗って一緒に身体を動かしたりして、楽しい30分を過ごした。

赤ちゃんとの遊び方を覚えられて楽しかった!

櫻井健太さんは、7カ月になる赤ちゃんと一緒に参加。



助産師さんからあやすときの注意を伝授。



する時間が無い。ときどき僕があやしても泣きやまず、ママに抱っこされた瞬間に泣きやむことがある。そんなときは、パパとしてせつなさを感じます。今日は一緒に楽しく過ごせましたし、遊び方も覚えたので、家でもうまくあやしたいと思います」と笑った。

やはり7カ月になる赤ちゃんに参加した岩澤秀憲さんは、「育児はどうしても女性が主体になる。男性として育児に参加したいけれど、どうすればいいのかわからない。今日はそういう意味ですごく勉強になりました。子どもの成長を実感するのは非常に楽しいので、今後も育児に積極的に参加していきたいです」と語った。

講座終了後、赤ちゃんたちは、パパに抱かれ、すやすや眠りながら会場を後にした。

パパと一緒に遊ぼうね!



「ママに楽をさせるためにも少しでも赤ちゃんとの遊び方を学びたい」と頑張るパパたち。



赤ちゃんと一緒に体操をするパパたち。パパ同士のコミュニケーションも生まれた。

平成26年6月29日、ふれあいキューブ内の春日都市保健センターで「イクメン講座」パパと楽しく赤ちゃん体操が開催された。

3カ月から10カ月の赤ちゃんとお父さん22組(パパ22人、子ども23人うち1組は双子)が参加した。ママも一緒に来ている親子も多数いた。

最初は助産師さんの講話。「赤ちゃんの育児に関わることは、ただイクメンではない。赤ちゃんやお母さんに思いやりのある言葉をかけてあげ



遊びも相談も本気で向き合う スマイルしようわ

緑に囲まれた庄和総合公園に隣接しているスマイルしようわ。

館内には、広々とした空間も、じっくり遊べる部屋もあり、幅広い年齢の子に人気。

施設の内も外も 充実しているセンター

スマイルしようわは、庄和総合支所の2階にある。同じフロアには図書館も併設。窓の向こうには庄和総合公園の美しい緑が広がっている。休日ともなれば、市内外から多くの人々が訪れ、バーベキューをする人やスポーツにいそしむ人でにぎわう人気スポットだ。

館内に入ると、バドミントンや遊戯が楽しめるプレイルーム、授乳コーナーも完備した乳幼児室、パソコンコーナーなどがある。スマイルしようわに行くのと、室内遊びはもちろん、一歩外に出れば、緑いっぱい広い公園の中で外遊びも満喫できるのだ。

恵まれた環境も手伝ってか、0歳児を連れたママから高校生まで幅広い年代の子どもたちが集う。ここではどの年代も安心して過ごせるよう、プレイルームの利用を年齢ごとに分けている。平日なら午前中から午後3時半までは乳幼児、それ以降が小学生以上といった具合だ。



「スマイルしようわでママ友ができました。」と利用者の新井有紀さん。

バドミントンをしながら 相談に乗ることも

「このセンターのモットーはみなさんの話を『聞く』こと」と語るのは、スマイルしようわの渡辺法子館長だ。

「とにかく全部聞く。相談事の答えが出なければ、ベテランのスタッフを呼ん

プレイルームでは平日の午前中、乳幼児のための集いを定期的に開催。ママやパパと一緒に体操や工作、手遊びをする。



気軽に遊びに
来てくださいね!



「子育ては友だちが強みになる。ここで友だちを作ってほしい」と渡辺館長。

「でも、面と向かつては恥ずかしいのでしよう。卓球やバドミントンをやりながら相談してることが多いようですよ」

そうした姿勢が利用者にも伝わり、小学生や中学生が、スタッフに対し、友だちづきあいや進路について打ち明けてくるケースも少なくない。

相談だけでなく遊ぶときも真剣。来館の小学生や中学生が「バドミントンの勝負をしよう」と誘ってくれば、スタッフは「よし」と応じ、手は抜かない。相手と本気で関わっていくからこそ信頼関係が生まれると考えているからだ。



小・中学生にはバドミントンが人気。

で解決したり、引き継ぎノートで共有し、みんなでフォローをしていきます」

人と人のつながりを 何より大事にしたい

「ただ、いちばん重視しているのは子育てをしているママのケアです。ママが変わると、子どもが変わるんですよ」

ある赤ちゃんは、ママがベッドに寝かせるとどうしても泣きやまない。だからいつも抱っこ。そのうちにママが痩せてきてしまった。四六時中抱っこをしたままで、食事もきちんと取れなかったのだ。

「ママには『お家では泣いても、抱っこを休んで、言葉がけだけにしましょう』とアドバイスしました。赤ちゃんは、児童センターのスタッフの抱っこにも少しずつ慣れるようにしました。すると半年を過ぎる頃には、泣かれることもなくなりました。ママも頑張ったんですね」

赤ちゃんはすでに大きく成長。一人で体操もできるようになり、今では笑顔のママと一緒に来館しているそうだ。



プレイルームのほか、乳幼児だけが利用できる部屋、乳幼児と小学生と一緒に利用できる部屋、読書や読み聞かせのできる部屋など、年齢や目的別に部屋が分かれていますので、使いやすい。集会室は子育てサークルの利用も可。



おもちゃの貸し出しもある。家とは違うおもちゃで、お友だちと一緒に遊ぶことに、子どもたちは大満足。

場」を開催している。2～5歳児（月曜日）、1歳児（水曜日）、5～11カ月（金曜日）と年齢ごとに分け、体操やリズム遊び、紙芝居などを行う。

子どもたちが楽しむのはもちろんのこと、ママたちは子どもとの遊び方がわかり、友だち作りの場にもなっている。

「かつては、おじいちゃんやおばあちゃんが身近にいて、ママにも孫にもいろいろと教えてくれた。今はそれがなければ、私がおばあちゃんの役目。『シャツが出てるよ』って入れてあげたりすると、『えっ、児童センターなのにそこまでやるの?』と驚く人もいます。だけど『やるっ、やるっ』って答えています。単なる遊び場ではなく、人と人とのつながりを大事にする施設でありたいですからね」

オープンから5年。センターを通して友だちになったママたちや、高校合格や就職が決まったことを報告に来る子どもたちが増えてきている。つながりを大事にするスマイルしようわの試みは、着実に実を結びつつあるようだ。



- 庄和児童センター「スマイルしようわ」
- 所在地 春日部市金崎839-1 庄和総合支所2階
- 問い合わせ 048-718-0300
- 時間 10:00～18:00
- 休館日 年末年始(12月29日～1月3日)



「家を建てるとき、たまたま不動産屋で春日部市の『ふれあい家族住宅購入奨励事業』のことを聞き、20万円分の商品券は有効に使わせていただきました」と英一さん。

私たち、三世代ふれあい家族です!

家族が近くに住んでいると
いつも安心していられる

内藤英一さんは3年前に、両親の啓一さん・輝子さんが暮らす春日部市に戻った。歩いて行き来できる距離に家を建て、妻の紀子さん、二人の娘さんとも引越してきたのだ。

「東日本大震災が起きてから、やっぱり家族はみんな近くに住むのがいいと思いました。毎日、安心して暮らせませすからね」と紀子さん。英一さんも、

「私が群馬県で仕事をしているので、何かあったときに、すぐに帰宅できない。せめて両親と自分の家族が近くにいると、安かろうと思いません」

非常時の安心に加え、高校生の長女・紗恵子さんや、中学生の次女・千恵子さんは、「親とちよつと気まずいときに祖父母の家にやってくる」という。

子どもたちにとって安心できる居場所が近くにあることで、反抗期もそれほど心配せずに乗り切れたという。

休日には、やはり近所に住む英一さんのお姉さんの家族や、東京に住む弟さんの家族も集まってバーベキューをすることもある。総勢16人での大宴会だ。

「三世代が近くに住むのは特別なことじゃなく当たり前のこと。お互い自由に暮らして、会いたいときにパツと集まるのが楽しいんです」と輝子さん。

幸せとは特別なことではなくて、いつも身近に家族の存在を感じていることなのかもしれない。

※「ふれあい家族住宅購入奨励事業」とは……市内に住んでいる親世帯の近くに居住するために、初めて住宅を取得する子世帯に対し市内共通商品券を交付する事業。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



赤ちゃんに語りかけながら、沐浴初体験。

初孫教室大盛況!

初孫を迎える
祖父母に、育児情報

を提供している教室。年に5回開催だが、人気があり、すぐに予約がいっぱいになる。

今回も14組18名が集まった。

「育児の今と昔」の講話や離乳食とおやつを試食のあと、等身大の約3kgの赤ちゃんの人形を使って、「組ずつ沐浴の体験をした。」

後藤貢さんは10月に初孫が生まれる予定で、妻の静子さんと参加。沐浴体験をした感想は、「赤ちゃんは意外と重い。落としてそうで怖かったけど、前もって体験しておくって役立ちそう」とのこと。

娘に赤ちゃんが生まれるので「手伝ってあげたくて」と参加した飯塚悦子さんは、「自分が育児をしていた頃とは、沐浴のやり方も違うので勉強になりました。おはあちゃん同士仲間もできて、楽しかったです」と笑った。



8000もの講座が子どもにも大好評！

グーかすかべ

春日部駅から徒歩約7分という立地にあるグーかすかべ。パティシエを招いての料理教室など本格的講座が年間を通して目白押し。スタジオでの楽器演奏や勉強を目的にやってくる中高生も多い。

私たちが
イベントを運営
しています！



左から、運営委員の加藤木さん、阿部さん、沼澤さん。

コンテスト方式の
ライブが大人気に

音楽の盛んな街、春日部。グーかすかべは、市のそんなイメージを色濃く反映している児童センターだ。

図書室やパソコンコーナー、多目的スペース、体育室などの設備に加え、2つの本格的音楽スタジオがある。18歳未満なら誰でも利用でき、しかも無料。楽器の貸し出しまで行っている。音楽を愛する市内外のバンド・グループたちから絶大な人気を得ている。

年間9万人以上が利用するグーかすかべ。その6割を中学・高校生が占めるのは、この音楽スタジオの力が大きい。

実は、平成21年のオープン当時は、なかなか利用者が来なかったという。



運営委員がステージを見る目は真剣そのもの。

素晴らしい音楽スタジオも、いつも決まった高校生のバンド数組が使うだけ。彼らは、他のバンドに知られると、自分たちの予約が取れなくなると警戒し、あまり口外しなかったという。塩田静二館長は、

「気持ちにはわかる。でも、せっかくいい設備があるのだから、もっと多くの子どもたちに利用してもらいたい」と考え、あるアイデアを思いつく。

観客の支持を多く集めたバンドが優勝する、というコンテスト方式のライブを行うことにしたのだ。

結果は大成功。優勝を目指す高校生バンドは、多くの友人たちをライブに招き、グーかすかべの存在も、無料音楽スタジオの存在も、瞬間に知れたることになった。利用者は一気に倍増。登録するバンドも、今では180組に増えた。

ライブは、「冬」「クリスマス」「卒業」の年3回の定番イベントとなり、平成26年からは、さらに夏にも開催されることとなった。



他の高校生ができない ことがここではできる

6月15日、ライブイベント本番の日。グーカすかべ4階の体育室には、大音量の音楽が鳴り響いていた。

ステージでは13組の高校生バンドが代わる代わる熱演。大勢の観客たちがステージと一体となって盛り上がり、照明を調整するブースが設けられ、ライブをサポートするスタッフが真剣なまなざしでステージを見ていた。運営委員の高校生たちだ。



出演も運営もすべて自分たちで。

立ち上げ当初、ライブ運営はセンターが中心となっていたが、徐々に高校生たちに移行し、今では自主運営できるまでになった。

会場を設営し、重い機材を音楽スタジオから運び出して、音響や照明の配線もする。毎年変わる約30名の運営委員の手にすべてが委ねられている。

高校生のライブで、なぜ、音響や照明にそこまでこだわるのか。ライブ立ち上げ時からボランティアとして参加し、今も高校生をサポートしている藤

井祐介さんは、

「配線は複雑で扱いは技術を要します。でも、ライブを盛り上げるためには、やはり本格的な環境を整える必要があるのです」

本格的な機材を導入することは、高校生たちのいい刺激となっている。

阿部響さん(高校2年)は今年の運営委員長。中学生の頃、先輩に誘われてグーカすかべに来たのがきっかけで音楽に魅了された。演奏もするが裏方もやってみたいと委員長を買って出た。

「他の高校生が体験できない、裏方の仕事を学べるのがやりがい。いろんな高校の生徒が来るから、人脈が広がるのも楽しみです」

同じく運営委員の加藤木葉さん(高校2年)は、照明を担当。

「配線が難しくて大変。だけど、ギターソロをカッコ良く見せるために、



全13バンドが出演。ライブ終了後は恒例の記念撮影。



小さい子ども
大歓迎です!



「講座情報や児童の入退館情報を保護者に送信する見守りメールサービスを始めました。みなさん、どんどん遊びにきてください」と塩田館長。



- 春日部第2児童センター「ゲーかすかべ」
- 所在地 春日部市粕壁3-8-1
わいわい春日部パーク3F・4F
- 問い合わせ 048-754-2815
- 時間 10:00~20:00
- 休館日 年末年始(12月29日~1月3日)

子どもたちの居場所 「横丁」でありたい

ゲーかすかべは、乳幼児や未就学児やそのママたち、小学生たちの利用も決して少なくはない。人気があるのは800以上あると

「自分が作った音をお客さんが聴いて、盛り上がりつつあるのを見るのが喜びです。ここで裏方の面白さを覚えたことがきっかけで、私自身、将来は音響設計の道に進みたいと考えるようになりました。今、まさに進路を考えているところです」

ゲーかすかべは子どもたちの将来の夢を育む場にもなっている。

ちょっと照明を暗くしたりして工夫することで『曲と合う雰囲気を作れた瞬間が、たまらなくうれしい。先輩たちの中には、ライブの裏方の道に進みたいと言っている人もいます」

音響担当の沼澤優香さん(高校2年)も大きくうなずく。

春日部市の児童センターには、それぞれ経験豊かで頼れるスタッフたちがいる。設備やイベントもそれぞれ充実している。共通しているのは、敷居が低く、いつでも来館者を笑顔で迎えてくれるところ。ぜひ、一度訪れてみてほしい。子どもたちはもちろん、ママたちもきっと元気をもらえるはずだ。

「昔は町には横丁があつて、子どもの遊び場になつていた。今はそれがなくなった。ここは、横丁に代わる子どもたちの居場所。横丁にはいわゆる『ご隠居』がいて、子どもにいろんなことを教えていた。私はそのご隠居(笑)。悪いことをすれば叱るし、いいことをすればほめる。そんな横丁を目指したいと思っています」

「昔は町には横丁があつて、子どもの遊び場になつていた。今はそれがなくなった。ここは、横丁に代わる子どもたちの居場所。横丁にはいわゆる『ご隠居』がいて、子どもにいろんなことを教えていた。私はそのご隠居(笑)。悪いことをすれば叱るし、いいことをすればほめる。そんな横丁を目指したいと思っています」





かすかべ 子育てサポート情報



地域子育て支援拠点施設 子育て家庭の親とその子ども(3歳未満の幼児および保護者)が気軽に集まって仲間作りをしたり、育児不安などの相談ができる場です。



**一の割自然保育園
「わかたけ」**

運営者:(福)若竹会 一の割自然保育園
住所:春日部市一ノ割1138
TEL:048-737-5572



**信愛保育園
「さくらんぼ」**

運営者:(福)英清学園 信愛保育園
住所:春日部市大場1644
TEL:048-734-9692



**大増のぞみ保育園
「ポップクラブ」**

運営者:(学)平原学園 大増のぞみ保育園
住所:春日部市上大増新田214-1
TEL:048-731-4152



**認定こども園 緑の森保育園
「緑の森保育園サロン」**

運営者:(学)庄和森田学園 緑の森保育園
住所:春日部市米島71
TEL:048-746-7373



**小島保育園
「子育て支援すこやかサロン」**

運営者:(福)米島会 小島保育園
住所:春日部市米島93-2
TEL:048-746-0401



**コープみらいコーププラザ春日部
「Coccoloom親子ひろば春日部会場」**

運営者:生活協同組合コープみらい
住所:春日部市中央1-4-1
TEL:048-753-4333



**エンゼル・ドーム
「エンゼルのつどい」ほか**

運営者:春日部市指定管理者受託
(株)こどもの森
住所:春日部市牛島371-1
TEL:048-755-8190



**庄和子育て支援センター
「ほっとタイム」ほか**

運営者:春日部市指定管理者受託
(株)コピーアンドアソシエイツ
住所:春日部市西金野井256-1
TEL:048-747-2321



**春日部子育て支援センター
「バックンキッズ」ほか**

運営者:春日部市指定管理者受託
平原学園・アクティオ共同事業体
住所:春日部市粕壁3-8-1
TEL:048-754-2201



**ハーモニー春日部
「Coccoloom親子ひろばハーモニー会場」**

運営者:生活協同組合コープみらい
住所:春日部市緑町3-3-17
TEL:048-753-4333(コープみらい)



**ゆっく武里
「いつ・も ゆめ色」**

運営者:子育て応援団ゆめ色
住所:春日部市大枝89 武里団地7-4
健康福祉センター・ゆっく武里
TEL:048-734-1098(団体代表者)



**アートチャイルドケア春日部
「たんぼほろム」**

運営者:アートチャイルドケア(株)
住所:春日部市下蛭田243-4
TEL:070-6514-5764(直通10時~16時半)、
048-761-0415(保育園)

ママたちの
つながりを
大切にしていね!

春日部市は子育てにやさしく、待機児童も少ない。子育て環境が底上げされています。ほかの市町村から引っ越してくる方もいるほどです。そんな中、児童センターは、親の相談にのるなど、センター以上の役割を果たしていると感じます。また、子育て支援拠点施設も充実しています。みなさんに気軽に利用していただきつつ、ただ子どもを遊ばせるだけでなく、親同士のつながりを大切に、子育てが終わってからもサークル活動にまで発展させるような関係を築いてほしいと思います。

家庭教育アドバイザー
春日部市地域子育て支援協議会会長
永田京子さん

開設日、開設時間は各施設によって異なります。
直接お問い合わせください。



**スマイルしょうわ
「つどいの広場“みっくすじゅーず”」**

運営者:春日部市指定管理者受託 シダックス
大新東ヒューマンサービス(株)関越支店
住所:春日部市金崎839-1
TEL:048-718-0300

<こちら、シティセールス広報課です!>

INFORMATION

第5回かすかべ音楽祭 第2部 「羽ばたけ未来の音楽家たち」開催



今年も全国レベル。小学生から高校生まで、大人顔負けのバンドや合唱団が続々と登場します!

- 出演:八木崎小学校・豊春中学校混声合唱団、飯沼中学校吹奏楽部、県立越谷北高等学校吹奏楽部、埼玉栄中学・高等学校マーチングバンド
- 会場:春日部市民文化会館 大ホール
入場無料。当日、直接会場にお越しください。

平成26年11月24日(月、休日) 13:30開場 / 14:00開演予定

READERS VOICE

読者からの声をご紹介します!

「祭り」を特集した第2号にお寄せいただいたご意見・ご感想の一部を紹介させていただきます。

今年の夏まつりは違った視点で楽しめそうです。(30代女性)

170年続く大塚あげ祭り、これからも伝え、つなげていきたいですね。(40代男性)

みんなの生き生きとした笑顔や、キラキラした瞳を感じる事ができます。(40代女性)

地方の友人に春日部のPRのために送っています。(70代男性)

PRESENT

感想をお寄せいただいた方、抽選で5名様に「クレヨンしんちゃん 保冷・保温バッグ」をプレゼント!

webでも受付中! 詳しくは「かすかべプラス」で検索!



「クレヨンしんちゃん」©白井儀人 / 双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK

- 応募受付期間
平成26年10月1日(水)～平成27年2月2日(月) 必着
- 応募方法

①市公式ホームページ内専用ページからご応募ください。→ [かすかべプラス](#) で検索!

②官製はがき以下の項目をご記入の上、ご郵送ください。

- お名前・性別・年齢・ご住所・電話番号
 - 本誌の入手先 よかった記事(ページ番号) ご意見・ご感想
- 《応募宛先》〒344-8577 春日部市中央六丁目2番地
春日部市役所シティセールス広報課 かすかべプラス第3号プレゼント係

*賞品の当選は、発送をもって発表に代えさせていただきます。
*応募の際にご提供いただく個人情報(氏名・住所等)は当企画以外の目的には使用しません。

▼専用フォーム



春日部市では、その他にもさまざまな子育て支援事業があります。それらも、ぜひ利用していただき、子育てを楽しんでいただければと願っています。

川村明 宮下帯子 重枝紗智子
山崎嘉那子 小俣智

(春日部市シティセールス広報課)

取材をする中で感じたことは、児童センターが単に子ども遊び場にとどまらず、ママたちの心をサポートしているというところでした。児童センターでは、経験豊富なスタッフが笑顔で待っています。子育てに悩んだときなどには気軽に相談してもらえたらと思います。

また、今回特集した3つの児童センターは多くのイベントや魅力的な企画で常にぎわつていました。それらのイベントを支えているのは、ボランティアのみならずの「子育てを応援したい」という熱い思いでした。

今回の取材を通して、子育てをするママたちから多くの声を聞くことができました。

「春日部市は待機児童が少なく、保育体制が充実している」「身近に自然があつて子育てしやすい」など。なかでも、「市内の児童センターが充実している」「子育てをするには強い味方」という声をより多く聞きました。

「編集後記」



表紙の人:市内にお住まいのご家族にご協力いただきました。
撮影場所:エンゼル・ドーム

OUTDOOR

「内牧公園」フィールドアスレチックが自慢



東京ドーム2個分の広大な公園。林間アスレチック広場、バーベキュー施設などの各施設が充実しています。

- クルマで
・国道16号「梅田(西)」交差点を白岡方向へ約2km
- 公共交通機関で
・春日部駅西口から朝日バス
・共栄大学入口「バス停下車徒歩約10分

アクセス

お問い合わせ

内牧公園管理事務所
所在地:春日部市内牧2735-1
TEL:048-752-8303

「庄和総合公園」ファミリー層に大人気



東京ドーム3個分の広さを誇る公園。公園内には野球場・体育館・テニスコートなどの各種運動施設のほか、バーベキュー施設、木製遊具があります。

- クルマで
・国道新4号バイパス「庄和 IC」交差点から約3分
・国道16号「金崎」交差点から約1分
- 公共交通機関で
・南桜井駅北口下車徒歩約20分
・春日部駅東口から朝日バス「辻橋」バス停下車徒歩約10分

アクセス

お問い合わせ

庄和体育館
所在地:春日部市金崎616
TEL:048-746-6111

*各施設の利用時間・休園日などはお問い合わせください。
*バーベキュー施設のインターネット予約は「春日部市公共施設予約システム」への登録が必要です。

